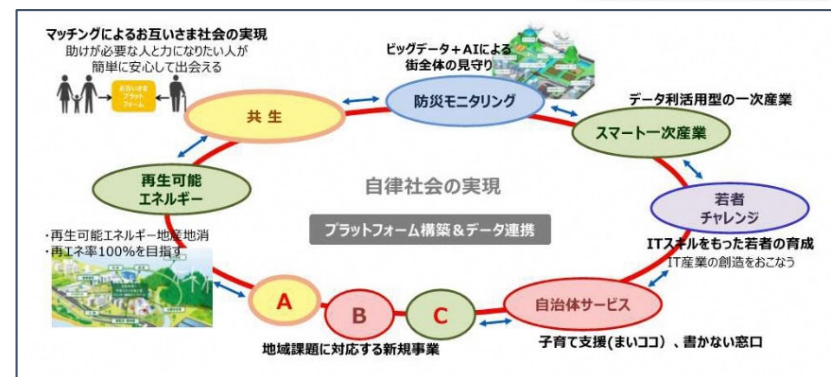


事業概要【「心が通う便利な田舎暮らし」実現のための「舞鶴版Society5.0 for SDG s」推進事業】

推進当初

申請者	京都府舞鶴市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	611,104千円 (114,561千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	都会にはない豊かな自然や本市特有の歴史・文化を最大限に生かすとともに、A I やIoT等の先進技術を積極的に導入し、「舞鶴版Society5.0 for SDG s」を推進する中で、日常生活や都市機能における効率性や利便性の向上、ヒトとヒトのつながりの強化、高齢者や女性の更なる社会参画等を促し、持続可能なまちを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 舞鶴版Society5.0 for SDGsの基盤を作り、 新たなヒト・モノ・カネ・情報の流れをつくるための取組 ・取組のプロモーション、普及啓発（委託料）3,900千円 ・企業と市民の交流促進（委託料等）14,240千円 ・先進技術の導入、実装（委託料等）21,303千円 2. 稼ぐ仕事をつくり、安心して働けるようにするための取組 ・地域資源を活用した交流人口等の拡大（委託料等）22,168千円 ・定住促進と地域産業の担い手確保（委託料等）9,649千円 3. 多様な人材の活躍を推進するための取組 ・高齢者等の外出支援等（補助金等）11,407千円 4. 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための取組 ・語学教育の充実、乳幼児教育環境整備（委託料等）31,894千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+400万人） ②一人あたりの観光消費額（+1,500円） ③地域の子育て環境や支援についての満足度（+21%）	関連URL	◆ 交付金の使途・実施体制 https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/0000009421.html ◆ 効果検証 調整中



事業概要【「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業】

推進当初

申請者	京都府ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,552,765千円 (504,280千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	■ 子育てにやさしいまち（誰もが住みやすいまち）の核づくりを創出する ■ 地域での仕事づくりを目指す ■ 関係人口の創出、若者定着を促進する ■ 若者・子育て世代にとって魅力的な住環境を創出する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○誰もが住みやすいまちづくり事業(府内への横展開) ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ソフト分)60,000千円 ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ハード分)40,000千円 ○第2期京都府地域創生戦略(各地域の将来像)に基づく各市町村の中心エリア間の政策連携促進 ・各市町村独自施策 354,280千円 ○【まちのファンづくり(若者定着促進)】 ・生活支援コーディネーター(アドバイザー配置)3,000千円 ・「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」部会の開催3,000千円 ・府内企業経営者による産業学セミナー、就職支援協定締結大学におけるミニ企業説明会等28,000千円 ・就労環境改善に取り組む中小企業支援8,000千円 ・就労環境改善のための就労環境改善アドバイザー派遣8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①モデル地域市町村における人口の社会減解消 (+900人) ②市町村による重点取組エリアの設定 (+25箇所) ③エリア内の起業数、雇用数等(関係人口の創出) (+580件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html



事業概要【「海の京都連携都市圏」形成推進事業】

推進当初

申請者	京都府舞鶴市ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,981,799千円（413,702千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	京都府北部5市2町それぞれが有する強みを活かし、連携と協力により役割分担と機能強化を図るとともに、公共交通等のネットワークの利便性を向上させることで、京都府北部が一つの経済・生活圏を形成し、圏域全体における地域循環型の経済成長、高次の都市機能の確保、生活関連機能の向上に協働・連携して取り組み、都会にはない豊かで文化的な生活環境を有する仮想的30万人都市圏を実現し、京都府北部地域の創生に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○圏域全体の経済成長のけん引 ・産学官連携コンソーシアム研究事業 2,200千円 ・地域の新たな「稼ぐ力」の創出のための創業支援事業 13,257千円 ・特色あるものづくり産業の「稼ぐ力」強化支援事業 62,485千円 ・黒谷和紙や丹後ちりめんなど伝統産業における「稼ぐ力」拡大支援事業 11,312千円 ・特色ある一次産業における「稼ぐ力」創出事業 65,346千円 ・新たな生活様式に対応した「海の京都観光圏」の形成推進事業 8,680千円 ○高次の都市機能の確保・充実 ・高等教育機関と連携した人材育成事業 17,744千円 ・高等教育機関と連携した地域づくり促進事業 42,182千円 ○圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ・関係人口創出事業 38,166千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域への移住世帯数（+50世帯） ②ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者数（+4,958人） ③製造品出荷額（+1,686,375万円）		関連URL 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会 https://kyotohokuburenkei.jp/k/ 効果検証（代表・綾部市） https://www.city.ayabe.lg.jp/0000002649.html

※京都府舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要【移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」】

推進当初

申請者	京都府ほか12自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,036,668千円 (466,997千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	移住者等を地域に積極的に受入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、自分の実現したい生き方や追いかけてみたいテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取り組みが地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 移住と地域づくりの関係性 0千円 (交付金事業外で実施) 移住促進特別区域の指定、移住者受入・活躍応援計画の認定 ● 移住を受入れられる地域や対応の拡大 6,162千円 移住情報の一元管理、オンライン化 他 ● 周知度アップによる移住検討者数の増加 109,200千円 アウトリーチ型情報発信拠点の設置 他 ● 移住者へのフォローアップ、交流人口や関係人口との循環拡大 100,379千円 移住者受入・活躍応援事業 他 ● 移住者の「職」への支援 + 関係人口の取込 108,560千円 ワーケーション推進エリアにおける関係人口づくり 他 ● 移住者等受入整備事業 142,696千円 地域内の空家改修による移住者受入促進 他		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数 (年間) (+1,430人) ②京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数 (新規取り組み地域) (+22地域) ③当該年度の移住者の定住率 (令和元年度実績の維持) (+0%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shinikikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、与謝野町の広域連携事業

事業概要【京もののブランド総合戦略事業】

推進当初

申請者	京都府ほか6自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	570,362千円(243,650千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・フードテックによる高機能性品種の研究・育成、それを用いた加工食品の開発等を行い、府内農林水産物の新たなブランド価値の創出を図る ・スマート農業技術の導入により、新品種、有機農業等の産地化を図る ・多様化する消費者ニーズに対応する京もののブランドを確立し、その高付加価値化、需要拡大を図る ・食に関わる多様な事業者が連携し、新しいライフスタイルに対応した商品・サービスの開発や販売チャンネルの拡大を実現させる京もののブランドサプライチェーンの構築を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○京もののブランドの価値向上に資する産学公連携の研究の実施 新品種の研究や育成、加工食品開発等(委託費等)30,000千円 ○オンラインマルシェやECサイトによる販売といった、多様化する消費者ニーズに対応する取組の促進 取組に対する経費支援(補助金)16,500千円 ○生産・加工・販売事業者が連携し、付加価値を更に高めた「京もののブランドサプライチェーン」モデルの構築 多様な事業者が連携した新商品・サービスの開発支援(補助金)30,000千円		 オンライン産地説明会の開催
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①京もののサプライチェーンモデルで生み出された商品・サービスの販売額(+16.7億円) ②京のブランド産品((公社)京のふるさと産品協会が認証する府内産農林水産物等)販売額(+6億円) ③京都プレミアム中食の開発数(+170件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、城陽市、大山崎町、精華町、和束町、舞鶴市の広域連携事業